



建 第 41 号
平成 19 年 4 月 20 日

国土交通省 道路局長 殿

山形県庄内町長 原田 眞樹



中期的な計画の作成にあたっての意見について (回答)

平成 19 年 4 月 2 日付け国道企第 114 号で依頼のありました標記の件について、
別紙のとおり回答致します。

中期的な計画の作成にあたっての意見

山形県庄内町

1. 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

① 日本海沿岸東北自動車道と新庄酒田地域高規格道路の早期整備実現

(理由)

- ・ 酒田港の物流ネットワークが広がり、中国をはじめとするアジア諸国との国際競争力を高め、地域内経済の活性化に大きく貢献する。
- ・ 救急医療体制の再構築の中で、高速道路活用による高次医療施設への時間短縮が図られ、救命率と早期治療に大きな効果が期待できる。
- ・ 団塊の世代の退職等により、新しい形の観光と交流の可能性が広がり、地域経済と活性化が図れる。
- ・ 広域ネットワークが図れることから、より広い行政間の各種連携が図られ、将来の更なる合併への可能性が高まる。
- ・ ネットワーク機能の強化により、土砂崩れによる通行止め等の災害に対して迂回路の確保など機能強化が図られる。

② 山形自動車道と新庄酒田地域高規格道路とのジャンクション化

(理由)

- ・ 最寄りのインターまでの所用時間の短縮により、広域での高速道路への乗り入れがし易くなり、利用者の拡大が図られる。

2. 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

- ① 高速化を進める上で全線の複線化が予算上で困難な場合には、部分的な追い越し車線等の効率的な活用でコスト削減を図り、早期の完成を図る必要がある。
- ② インターチェンジの ETC 化をより推進することで、管理コストの削減と渋滞の解消を図る。

3. その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

- ① 観光・交流など、市町村のまちづくり計画との関わりをより重視したルート選定に配慮をお願いしたい。
- ② 家族旅行などは増加傾向にあるが、若者や高齢者などの可処分所得は低くなっていることから、高速道路利用料金をより利用しやすい設定とするようお願いしたい。